

平成19年度 長野県中期五カ年計画への提言

-2007.7.31-

平成 19 年 7 月 30 日 (於 元前控室)

長野県議会 県民クラブ・公明

中期5カ年計画への3つの提言

提言 1

本計画を積極的に達成しようとする行政としての長野県の基本姿勢を示す事。

- ・ コスト主義
- ・ 環境的配慮
- ・ 情報公開への積極姿勢
- ・ 男女共同参画意識の高揚

背景:情報公開に関する記述があまりにも少ないという印象を受けます。

県民参加型行政が求められる中で、本来、時代の潮流で触れておくべきであると考えます。

本計画の対象時期は、5年間という限られたものですが、県民から求められる基本的姿勢を確認しておく事は、重要な事であると思います。

提言 2

CSR(起業の社会的役割)の明確な評価と力強い促進の姿勢の表明

背景:国民の租税負担、社会保障費が増加していく中で、行政の役割の明確化が求められています。行政の役割の明確化を進めると同時に個人の責任も明確にしていく時代が到来しています。その際、これまで利益追求を行ってきた企業もCSR(社会的役割)を担う事が期待され、また、社会的役割を担う事が企業価値と評価される時代となってくると考えます。

提言 3

倫理道徳力の向上のための施策充実

背景:倫理感の減退が現代社会の大きな問題となっています。倫理道徳力を向上させていくためには、社会全体で努力していく事が重要です。しかしながら、数値目標化するための計測が困難な分野でもあります。

計測が困難な事項であっても、あるべき長野県の姿には、不可欠な倫理道徳力向上のための方向付けを明確にしておくべきであると考えます。